

MLA48

NEWS
LETTER

2017年2月26日
No.118

MLA48 プロジェクト

🕒 2月度合同ミーティング(MLA48 通算第65回)

2月25日(土)長津田地区センターでJH1YMC 横浜みどりクラブ第四十五回アンテナ製作プロジェクトとMLA48プロジェクト合同ミーティングが開催されました。今回もJP1HUJ/W6 大山さんは、サンノゼからSkypeで参加。第一部は「無線通信の真の発明者？ニコラ・テスラ」と題して、JG1CCL 内田さんの



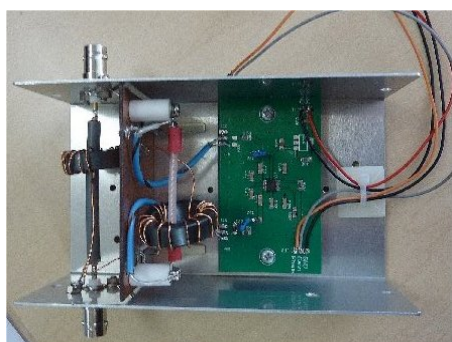
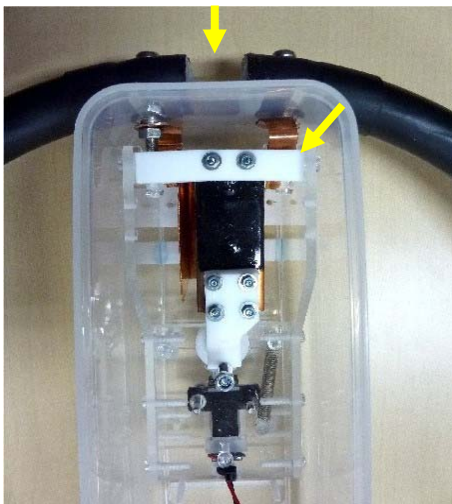
実験と JG1UNE 小暮のプチ講演。テスラ電光音発生器キット(aitendo)は、テスラコイルの先端から放電して、コンパクト蛍光灯を近づけただけで、明るく点灯します(写真左)。また、MP3プレーヤーをつなぐと、テスラコイル付近から音楽が聞こえてきました。いったいどこがスピーカーになっているのでしょうか？

超高圧の電気を使った独創的な実験を繰り返すテスラは「マッドサイエンティスト」と呼ばれましたが、テスラコイルは、1850年代にケルビン卿(William Thomson)が発見した「コンデンサーとコイルによる共振の原理」を応用した高周波変圧器。1943年6月、アメリカ最高裁は無線通信の特許に関して、テスラの特許がマルコーニをはじめとするすべての競争者に優先するという判決を下し、晴れて

無線通信の真の発明者となりましたが、それは、彼の死から半年後のことでした。講演資料はDropbox

第二部JR1OAO 中島さんの「究極の50MHz MLA現状」は、前回のミーティングで発表された発熱問題の対策報告。メインループのギャップ部誘電体を取り除き、電界が集中する金属梁をテフロンに替えたところ、50W連続(FM)で40℃程度と、大きく改善されました。JF1IQQ 下地さんからはインラインタイプのSWR計(AD8302使用)がご披露されました(写真)。トロイダルコアを2つ使った「タンデムマッチ」を採用。この方式は、調整の手間いらずでFBとのこと。

今回は24名も参加で、懇親会も盛り上がりました。JA9BQE 橋場さんから全長30mワイヤーによる菱形MLAのその後をお聞きしましたが、次回のミーティングでの発表が楽しみです。DE JG1UNE



後列左から JA1HIS JA5KVK JA1HCF JI1DCS JO1GCJ JA3UOQ JA1GTZ JA7DMK
JH1EKV JF1ATY JR1MAU JS1JYW JE1TOZ JG1SMD JH1MMB JK1VNN
前列 JA9BQE JI1TVB JR1OAO JF1IQQ JG1UNE JA1AVV JA1DQW JG1CCL

